

## 9月季節の便り



女郎花・カマキリ：

女郎花の上で、蜂などが蜜を吸いに来るのを狙っていました。

アオサギ：

鳥には汗腺がないので口を開けて、暑さを凌いでいました。  
カラスは木陰で同様に口を開けていました。



芙蓉：

ムクゲと同じアオイ科フヨウ属ですので、ムクゲの花の形によく似ています。

トンボ：

フタスジサナエが、女郎花の側の枯れた茎に止まっていた。





## ツバメ：

修景池の上を飛ぶツバメは、ピンボケながらなんとか撮れました。

（左下）

以前に撮ったツバメの前方からのもの。

（右下）

以前に撮ったツバメの後方からのもの。ステルス戦闘機の様に見えます。



## コジュケイ・子育て：

先月紹介したコジュケイの雛は6月下旬に誕生、2ヶ月で親(み)より少し小さい位に成長し、羽の色も親鳥に似てきました。8月11日までは母親も入れた4羽で現れていましたが、益過ぎからこの3羽です。二番子の抱卵で姿を現さないのではとの話が出ていますが、9月10日頃判明すると思われます。

